



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

7号

令和元年8月30日

六ツ美西部小学校長
山本 則夫

教師もしっかり学んでいます！

「先生たちにも夏休みの宿題があるんですよ。」

「エーッ！」2学期始業式、校長の話の一場面です。

例年より3日早く2学期がスタートし、学校にも子供たちの明るい笑顔が戻ってきました。

昨日の午後は、岡崎市教育研究大会が市内19会場で開催されました。この大会は、教師が日々の授業を通して実践的に研究してきた成果を発表し、互いの協議の中でその指導力を高めることをねらいとしています。



【実践発表をする鈴木先生】

これがいわゆる「先生の夏休みの宿題」の一つです。岡崎市は、このような教師の研修の場がたいへん充実しています。先進的な研修を見ようと全国から視察の依頼があります。魅力ある授業を実践するために、常に新しい教育技術の習得や教材開発は、教師の使命です。本校からもたくさんの先生が実践発表をし、熱心な協議を通し、授業力を高めました。

来年度、小学校の新学習指導要領が完全実施されます。正直、私たち教師も新しい教育内容を子供たちに教えることには、不安もあります。だから必死に研修を積んで準備するのです。具体的に何が変わるのかを簡単に説明します。

【英語の教科化(5・6年)】

全ての英語の授業にALT(外国語指導助手)が配置され、生きた英語を学びます。既に岡崎市では、平成20年度から小学校全学年でDVD視聴を通して英語の学習が始まっています。全学年で実施されているのは全国的にも珍しいです。これまで「聞く」「話す」を中心に学習してきた外国語活動が「読む」「書く」の活動を加えた正式な教科としての英語となり、通知表に評価も記載されます。

【プログラミング学習】

生活は、デジタル化し、AIなどの新たな技術が生まれる中で、10年先の未来すら予測することが難しくなっています。そんな時代を生き抜く子供たちに「コンピュータを受け身ではなく、積極的に活用する力」や「プログラミング的思考(論理的思考力)」を育成することが求められています。

本校では、昨年度から、本校の保護者でもある牧野氏をお招きして実践的なプログラミング学習の研修を行っています。また、岡崎市教育委員会が作成したモデルカリキュラムを利用したり、市のICT支援機関の研修を積んだりして全学年で実践していきます。



〈ALT ダミアン先生〉